

# CUCMの読み取り専用コマンドラインインターフェイス(CLI)の設定

## 内容

[概要 :](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[11.5での動作](#)

[設定](#)

[例:](#)

[特権0を持つコマンド](#)

## 概要 :

このドキュメントでは、Cisco Unified Communications Manager(CUCM)バージョン11.5で導入された新しい読み取り専用CLI機能について説明します。

著者 : Levi Thomas著、Cisco TACエンジニア、Manjunath Junnur

## 前提条件

## 要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco Unified Communications Manager バージョン 11.5

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 背景説明

多くの場合、お客様の環境では、CLIコマンドへのアクセスが制限されたユーザに対する機能が必要になります。

このバージョンでは、CLIの読み取り専用権限の機能が含まれています。

CUCMおよびIM&P管理者は、ユーザアカウント、コマンドラインインターフェイス(CLI)での読み取り専用権限アクセスを提供できるため、既存の設定情報は表示されますが、変更できません。

**注 : 書き込み操作のコマンドは、読み取り専用特権アカウントユーザに対して拒否されます**

。

## 11.5での動作

- 現在のCLIアーキテクチャでは、**set account name**コマンドを使用して2種類のユーザを作成します。

1.レベル0の特権 (読み取り専用/通常ユーザー)

2.レベル1権限(特権ユーザー)

読み取り専用ユーザー : (show, status);set、deleteコマンド、enable/disable設定にはアクセスできません。いずれかのコマンドが読み取り専用の場合、CLI設定xmlファイル「priv」で値は0で、読み取り専用ユーザーがアクセスできます。

特権ユーザー : 設計に従って、特権ユーザーは読み取り専用コマンドと書き込みコマンドにもアクセスできます。cli設定ファイルに「priv」値1のコマンドがある場合、これらのコマンドにアクセスできるのは特権ユーザーだけです。特権ユーザーは、priv値0および1でコマンドにアクセスできます

**管理者ユーザー** : 管理ユーザーはすべてのコマンドにアクセスできます。管理ユーザーのレベルは4です。cli構成ファイルで「priv」値が4の場合、これらのコマンドにアクセスします。管理者ユーザーは、priv value 4,1,0 levelコマンドにもアクセスできます

## 設定

読み取り専用ユーザーアカウントを作成するには、CLIにログインし、コマンドを使用します。

```
admin:set account name <input any name>
```

特権レベル :

- 0

詳細 - レベル1

読み取り専用のアクセスユーザーとして0を選択します。

パスワード : \*\*\*\*\*

再入力して確認 : \*\*\*\*\*

同様のスクリーンショット :

```
admin:set account name ciscotac
```

```
Privilege Levels are:
```

```
  Ordinary - Level 0
```

```
  Advanced - Level 1
```

```
Please enter the privilege level :0 ←
```

```
  Please enter the password :*****
```

```
  re-enter to confirm :*****
```

```
Account successfully created
```

## 例:

例 1 : 読み取り専用ユーザークレデンシャルでログインし、DBレプリケーションを停止してください

```
admin:utils dbreplication stop all
```

```
Executed command unsuccessfully ←
```

```
No valid command entered
```

```
admin: █
```

例 2 : リージョンを削除するためのSQLクエリを使用します。

```
[admin:run sql delete from region where region ="91b78ae6-6e6b-f9fd-cd1d-380a1b188034"  
No DELETE permission for region. ←
```

例 3 : 読み取り専用ユーザ。任意のShowコマンドを使用できます。

```
[admin:show version active ←  
Active Master Version: 11.5.0.99838-4  
Active Version Installed Software Options:  
No Installed Software Options Found.
```

例 4 : 読み取り専用ユーザを使用してグラフィカルユーザインターフェイス(GUI)オペレーティングシステム(OS)管理者にログインします。どのタブにも書き込みアクセス権がないことがわかります。証明書を開くと、その証明書には詳細が含まれますが、削除または再生成のオプションはありません。

## Certificate Details for publisher, CallManager

### Status



Status: Ready

### Certificate Settings

File Name	CallManager.pem
Certificate Purpose	CallManager
Certificate Type	certs
Certificate Group	product-cm
Description(friendly name)	Self-signed certificate generated by system

### Certificate File Data

```
[  
Version: V3  
Serial Number: 45BA6326E241B27DCA57D66E80F61F33  
SignatureAlgorithm: SHA256withRSA (1.2.840.113549.1.1.11)  
Issuer Name: L=Bangalore, ST=Karnataka, CN=publisher, OU=Cisco, O=Cisco,  
C=IN  
Validity From: Fri May 27 13:00:14 IST 2016  
          To: Wed May 26 13:00:13 IST 2021  
Subject Name: L=Bangalore, ST=Karnataka, CN=publisher, OU=Cisco,  
O=Cisco, C=IN  
Key: RSA (1.2.840.113549.1.1.1)  
Key value:  
3082010a0282010100d634eb2a09e5ac0e91015ece7696040fa5f20baae7c4010cf0  
863303e46b8d6fd73a8b5481d4cefd89ade3f5ede53dae3c89aaa7df080263d4de52a  
f2dfcfec961946239d00bb7f4d13f76a777b93e57cdf5486ea2ad205b55fb0be6604a2
```

## 特権0を持つコマンド

特権0を持つコマンドの例

- show status
- show process using-most cpu
- utils dbreplication runtimestate
- show network eth0
- utils service list